

Yamakado News Letter



来訪者で賑わった紅葉シーズンも終わり、静かな冬へ



少し積雪があった翌日の北部湿原 12/17

例年のことですが、11月の後半の紅葉シーズンはたくさんの来訪者で賑わいました。記帳簿から拾い出した数字では11月15～30日までの半月間で560人の来訪者がありました。前半の11月1～15日は283名。11月の合計は843人でした。ちなみに、12月1～20日までの集計では34人です。

たくさんの来訪者で賑わうのは嬉しいことですが、一度に大人数の入山があると観察道が渋滞したり、昼食時には踏み込んでほしくない場所まで人が広がったり、バイオトイレの処理能力が追いつかなかったりなど、色々とも問題も発生します。12月度の理事会でも問題点や対策が協議されましたが、これ！という解決策がないのが実情です。

そんな行楽シーズンも終わり、山門水源の森は静かに年末を迎えようとしています。今年も会員の皆さんはじめ、たくさんの人々に関わって頂いて保全活動を行ってきました。大きな事故も無く活動が行えたのは何よりも幸いでした。



守護岩の注連縄づくり 12/17 Photo by Fujimoto H

11月後半から12月前半にかけての活動

山門水源の森の観察コースには約1,000段の階段があります。人が歩いたり雪の圧力、腐朽などで少しずつ劣化しています。破損した箇所はヒノキの間伐材や、アカガシ萌芽の大きくなり過ぎたものの間引き材などを利用して随時修繕しています。切り出し場所から修繕場所までが遠いと歩荷で運ばなければならず、大変な重労働です。そのようにして調達した資材ですが、もって5年、条件が悪いと数年しかもたないこともわかってきました。しかし、この山には階段修繕に適した太さの資材がふんだんにあるわけではありません。そこで今年はプラスチック製の杭を使ってみることにしました。耐久性があり、資材確保に悩む必要がなくなると期待されています。

その他の活動など

付属湿地の管理、糞粒調査、南部湿原のイヌツゲ除去など、植物や生き物の活動がおさまってから雪が降るまでの間に行うべき作業がいくつかあります。たくさんの人々の協力を得て、今年も何とか作業を終えることができました。ありがとうございました。



購入したプラ杭 Photo by Saji



資材の運搬の様子



四季の森コース修繕の様子

付属湿地の除草とサギソウ植替え等
11月後半糞粒調査 11月後半（阪大実践演習
11月19日） Photo by Fujimoto Hユキバタツバキ区画表示板
更新作業 打ち合わせの様子 12/3

ササ防獣ネット袖止め補強 12月

南部湿原内のイヌツゲ、雑木等除去と
湿原外搬出 12月中頃

シカ狩猟捕獲 11月15日～